

一般社団法人広島県中小企業診断協会 会報誌

診断ひろしま

2022.1

令和4年1月

新年号
WINTER

vol.
86

巻頭のことば（新年のご挨拶）

TOPICS – 新年座談会

新入会員紹介／活動報告

経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中小企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

www.hiro-smeca.jp

今年は、干支の「壬寅」のごとく、 「新しく立ち上がる」企業を支援していこう！



会長 江川 雅典

新年に先立ち、2022年は干支「壬寅（みずのえ・とら）」となります。壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさが表れているそうです。

顧みると、2020年4月より猛威を振るい始めた新型コロナウイルス感染症の影響は、近年のワクチン接種などにより、2021年の末で、ようやく沈静化の兆しが見え始めているところとなっています。世界的に人の移動が目まぐるしい状況下の中、この新型コロナウイルス感染症が持つ感染力の脅威は、世界を震撼させ、大都市のロックダウンによる経済停滞は、とてつもない破壊力で企業収益を蝕んでいきました。

特に人手が頼りの中小企業・零細企業にとって、今回の新型コロナウイルス感染症の影響は大変大きく、雇用調整助成金を受給しても、他の固定費が賄えにくい事業所が多くあることも確認できたところです。

この様な経済環境の厳しい時であるからこそ経営理念の原点に立ち返り、事業全体を再確認して「新しく立ち上がり」、確かな一歩を踏み出して頑張ろうという事業者がいます。まさに、干支の「壬寅」のごとく、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」を実践していこうとする事業者です。

頑張る事業者の一つとして、今回は江田島で「めん処 にしむら庵」を営む飲食店の取り組みを、ご紹介させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、目の前に病院や介護施設があるものの、店を開け

ることができず本当に厳しい1年を乗り越えてこられました。『江田島を愛する多くの方々に、美味しい食事を提供したい』という想いの中で、お店を開けることができないこの時間を活用して、【マトン肉の焼肉のタレ】を復活させました。

ここで何故【マトン肉の焼肉のタレ】の復活なのかですが、江田島町は昭和30年代全国でも有数の綿羊生産地として、町内に羊市までたっていたそうです。その頃、江田島周辺では羊が飼われており、当時の牛肉は高値の食べ物であったのに対して、羊肉は庶民の食べ物として家庭で食べられていたそうです。

昔の懐かしい味を復活させて、『江田島を愛する多くの方々に、美味しい食事を提供したい』という想いにつながるこの取組を、“江田島市事業チャレンジ応援支援金”に応募することで、軌道に乗せたいと頑張っておられます。

新型コロナウイルス感染症からの復興の中で、改めて足元を見つめ直し、事業所の想いを再確認し、新たな一歩を踏み出す勇気を、中小企業診断士が支え、干支の「壬寅」のごとく、「新しく立ち上がる」企業を支援していく年にできれば幸いと考えております。

今年が良い年になりますように、祈念すると同時に、良い年にするための惜しみないご支援をこれからもよろしくお願ひします。





新年を迎えて



副会長 西原 州康

新年、明けましておめでとうございます。
令和4年の新春を迎え、会員並びに関係機関の皆様におかれましては、謹んでお慶びを申し上げます。

さて、令和3年を振り返ってみると、やはり新型コロナウイルス一色でした。年頭から首都圏を中心に緊急事態宣言が発令され、5月、8月には広島県にも発令されました。令和3年は、ほぼ一年中飲食店や旅行業者は休業状態になり、各種のイベントも中止になりました。こうした中、政府からの大きな補助もありましたが、持ちこたえることができず、倒産、廃業した中小企業も多数発生しています。

また、半導体不足や資材の高騰も企業に大きな影響を与えました。半導体不足は、自動車メーカーの減産を余儀なくしましたし、下請け企業の受注減少を招きました。マツダの企業城下町である広島経済も大きなダメージを負っています。半導体不足は、様々な電子機器の在庫不足も招きました。お客様から受注したが、在庫がなくて納品できないという状況が今も続いています。

資材の高騰もお客様への値上げが困難な中小企業の収益を大きく悪化させています。特に石油の値上げが激しく、全業種に影響を与えています。輸入木材も高騰しており、中小の工務店は非常に厳しい経営を行っています。

こういう厳しい状況は、令和4年も継続することが予想されます。日本では、感染拡大が落ち着いて、飲食業、旅行業等回復の兆しを見せてい

ますが、新たな「オミクロン株」が発生したことにより、再度感染爆発を起こしてしまうことも予想されています。

令和4年も益々厳しい状況の中、広島県中小企業診断協会は何をすべきなのでしょうか。やはり、国が認めた唯一のコンサルティング専門家集団として、行政の支援制度を利用し、補助金等の中小企業施策を有効活用して、民間のコンサルタントにはできない「少ない負担で状況の厳しい中小企業を中心に支援」するべきだと思っています。

広島県中小企業診断協会は、各業界の専門知識や専門技術を持ったコンサルタントが多数所属しています。このコロナ禍で企業の存続が危ぶまれている中小企業の皆さんは、気軽に地域の中小企業支援機関や、直接広島県中小企業診断協会に相談してみてください。

引き続き、本年も広島県中小企業診断協会の活動にご支援、ご協力、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

最後に本年の皆様のご多幸とご健康を祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。





寅年生まれの先生による座談会 ～コロナ禍での気付きや抱負～



出席者（左から年齢順）



会 員
三本木 至宏
大学教員
1962 年生まれ 今年 60 歳



会 員
大村 真司
大村法律事務所 代表
1974 年生まれ 今年 48 歳



会 員
佐藤 稔
県内メーカー勤務
1986 年生まれ 今年 36 歳

本庄（司会） 2021 年は 2020 年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により中小企業を取り巻く環境は厳しいものとなりました。本日は、寅年生まれの 3 名の会員の方々にお集まり頂きましたので、中小企業診断士を目指された理由やコロナ禍での気付き、今年の抱負等について詳しく伺いたいと思います。

自己紹介と寅年ならではの経験やエピソード

本庄 それでは、寅年生まれの皆様、よろしくお願いたします。まず簡単な自己紹介をお願いします。また、寅年生まれの方はチャレンジ精神が旺盛で逆境に強く、正義感が強いと言われていますが、寅年ならではの経験やエピソードがございましたらお聞かせください。

では今年めでたく還暦を迎えられる三本木先生からお願いします。

三本木 本庄先生、ご紹介ありがとうございます。2009 年 3 月に診断士登録しました、さんぼ

んぎよしひろ、と申します。今から 2 時間、どうか最後までおつきあいください。

私は 1962 年生まれ、今年 60 歳になります。職業は大学教員、専門は微生物学と蛋白質科学です。教員生活約 30 年と自己紹介させていただきます。

実は、私は 4 人兄弟の一番上で、一番下の妹も寅年です。トラは強いイメージがありますので、兄弟間のパワーバランスでは私がずっと優位に立っていると錯覚しています。ただ、職場にはそれを決して持ち込んでいないつもりです。

大村 昨年 11 月中小企業診断士登録、今年診断協会に入会した、大村真司と申します。

メインの仕事は弁護士で、2000 年登録ですので、22 年目になります。独立し、大村法律事務所を開業して 10 年が経過しました。資格を持っているだけですが宅地建物取引士で、来年度更新(5 年経過)です。キャッシュフローコーチ協会にも入会しており、肩書だけは沢山あります。

寅年ならではの経験…、干支で何か経験が変わることってありますか？ちょっと思いつかないです。

佐藤 私は昨年度の診断士試験に合格し、今年度に診断士登録を致しました。出身は北海道ですが、就職を機に広島へ。現在は県内メーカーの企業内診断士として、国内営業領域の短期計画策定や予算収益管理、内部統制対応を通して、領域内のマネジメント判断サポートから、社内スタッフの業務・取引相談対応などを行っております。

寅年ならではの経験…ではないですが、調べると1986年生まれの方は、36年に一度、九星の五黄土星と組み合わせさせた「五黄の寅」と言われ、強力なパワーと運気を持ち合わせているそうです。自身を振り返った時に、そう感じる様な事はあまり思い当たらないのですが(笑)、これまで多くの人や機会であったり、今回もこのような場に参加させて頂いた意味では、大変ありがたく、恵まれていると感じております。どうぞよろしくお願い致します。

ちょこっとコラム

毎年、年賀状を書くときには干支を思い出しますね。干支による性格占いには迷信や言い伝えとも言われますが、皆様は当てはまりますか？ちょっとした話題作りとしても、良いかもしれないですね。

子年…社交的、自立心や協調性がある
 丑年…働き者、マイペース、頭が良い
 寅年…行動力がある、勉強熱心、正義感が強い
 卯年…頭の回転が速い、要領が良い、温厚
 辰年…発想力・行動力がある、強運
 巳年…知的で冷静、繊細な感性、センスが良い
 午年…生命力・冒険心が強い、人気者、社交的
 未年…芯が強い、優しい、努力家
 申年…天性の才能を持つ、愛される、器用
 酉年…天才肌、凝り性、強運で頭が良い
 戌年…愛情深い、誠実、努力家、リーダー的
 亥年…お人好し、正義感が強い、勇気がある
 (諸説あります)

中小企業診断士を目指した動機とは

本庄 それぞれ、ご経歴やお立場が違って多様ですね。皆様、中小企業診断士を目指された動機を教えてくださいませんか？

三本木 今から20年ほど前に国立大学が法人化されたことは、みなさんご存じでしょうか？当時職場では、法人化にあたって民間企業の経営手法を導入しなければならないと言われていました。そこで私は、「経営に関する知識を備えたい」、という動機で中小企業診断士を目指しました。ちょうど40歳になるかならないかぐらいの頃、不惑だというのに悪あがきかなあと感じつつも、現会長の江川先生や現副会長の西原先生の親身な受験指導も賜り、何回も診断士試験を受けました。試験を何回もあきらめずに受けたのは、診断士の受験勉強が大変面白く、たくさん勉強したかったからです。

大村 弁護士業務を長年やってきており、集団訴訟(原爆症の認定や集団詐欺被害などの弁護団など)や専門訴訟(医療過誤や欠陥住宅)なども含め、様々な仕事をやってきたのですが、個人中心でした。安定した収入を確保する上では、企業の相談の割合を増やしたいと考えた時、経営に関する知識を入れたいと思いました。そんな中で、Facebookで繋がっている弁護士で中小企業診断士試験に合格した人が複数おり、興味を持ったのがきっかけです。

元々、ジェネラリスト志向が強いので、ちょうどよい試験だとも思いました。

佐藤 きっかけは大きく2つです。まず1つ目は、現在の勤務先に入社後しばらくして、自社商品を販売して下さる販売会社の経営や取り組み支援に携わった事です。

販売会社は規模が大きな所もありますが、中小企業も数多くあります。社長や経営陣、社員の方と接し、お話をお伺いする内に、もっと質の高い提案から経営に貢献できる様になりたいと考えている中、「中小企業診断士」という資格に出会いました。

もう1つは、社員育成の一環で財務部門に配属となった事です。それまで触れた事の無い、会計や税務領域に悪戦苦闘した一方で、ビジネスや過去業務の見え方が大きく変わった面白い経験でした。

中小企業診断士は、ビジネスに関して幅広い領域を体系立てて学ぶ事ができます。視野を広げる事で、この時以上に自分の世界を広げられると共に、自社や販売会社、お世話になっている広島にもより貢献できるのではないかと考え、資格取得を決意しました。

診断士を目指した動機のとめ

- 国立大学の法人化という環境の変化
- 経営に関する知識を備えたかった
- 企業相談の割合を増やしたくて経営に関する知識を学びたかった
- 周囲に診断士試験に合格した人がいた
- ジェネラリスト志向が強いから
- もっと質の高い提案をして、経営に貢献できる様になりたかった
- 財務部門に配属になり、ビジネスの見え方が変わったから
- お世話になっている会社や地域（広島）に貢献できるから

診断士になってからの 思い出深いエピソード

本庄 皆様の仕事に向かう真面目で誠実な姿勢、勉強熱心なところが良くわかるお話でした。ありがとうございました。

診断士になってから、嬉しかったエピソードや成功・失敗談など、思い出深いエピソードがありましたら教えてください。

三本木 嬉しかったことは、何ととってもたくさん診断士仲間から刺激を受けたことです。具体的なエピソードを申し上げると相手が特定されてしまい、取り上げなかった方から「私は刺激しなかったの?」と言われてそうで、どう答えてよいやら、、、困ります。

対人的なことではなく、個人的なことでも聞いていただけるでしょうか? それでは、、私個人の所感に過ぎないのですが、「診断士は人がやらないような面倒なことをスマートにこなす、あるいはそうならなければならない」と思っています。ですので私は、今の職場に着任して今年で満20年になりますが、これまで頼まれた仕事を断らずにありがたく引き受けてきました。そうしているうちに、何回か修羅場を経験しました。診断士だから修羅場をくぐってこられたのかもしれませんが、もっとも、診断士になっていない場合の反事実(あつすみません、因果推論の専門用語です)を検証できませんので、科学的エビデンスはありませんが。

職場には診断士仲間はいないのですが、同僚からもたくさん刺激を受けています。嬉しいエピソードは、結局は対人的なことになってしまいますね。

大村 今のところ、中小企業診断士としての仕事はほとんどやっておらず、弁護士の仕事として企業の方から受任する事件に対応する中で、経営上の知識を使えることは強みになっていると感じます。

クライアントからは確実に評価頂けていると思っています。

問題は、裁判の書面で書いても、裁判官は理解してくれないんじゃないかなあと言う悩みがあることです(笑)。

あ、最近 YouTuber になった(笑)のですが、その作成において、小規模事業者持続化補助金を自分で申請しました(笑)。補助金額の最終決定段階で、1度はほとんど出ないような連絡をもらい、交渉する羽目になったりした(結局全額でました)ので、大変だったものの、非常に勉強になりました。

※ YouTube 動画を 100 本作成し、順次アップしています。大村法律事務所を検索すると出てきますので、よろしければチャンネル登録をお願いします。

佐藤 本格的な活動はこれからという所なので実務補習の話にはなりますが、非常に学び多いものでした。

印象深かった事は 3 点。まず 1 つ目は、社長の皆様が研鑽を通して多くのアイデアを持ちながらも、忙しさもありどこから手を付けて良いか悩みながら経営されていた事。

2 つ目は、実務補習はあくまで企業診断のスタートに過ぎない事です。もちろん自身の経験・スキル不足が大きいですが、社長へ提案書の説明をして初めて、業界の事情やより深い所の課題が見えてきたという体験を通じ、ここからのやり取りを重ねる事で、本当の企業支援に繋がっていくのだと感じました。

3 点目ですが、その中でも社長から、経営の整理に繋がった、提案の一部を実践しようと仰って頂けた時は非常に嬉しかったと共に、研鑽を積み、より貢献できる様になりたいという想いが強くなりました。

思い出深いエピソードのまとめ

- たくさんの診断士仲間から刺激を受けた
- 「診断士は人がやらないような面倒なことをスマートにこなす、あるいはそうならなければならない」と思っており、頼まれた仕事を引き受けているうちに何回か修羅場を経験。くぐれたのは診断士だからかも

- 企業の方から受任する事件に対応する中で、経営上の知識を使えることは強みになっており、確実に評価頂けている
- 裁判の書面で書いても、裁判官には理解してもらえないのではという悩みがある
- 最近 YouTuber になり、小規模事業者持続化補助金を自分で申請。勉強になった
- 社長は忙しい中で悩んでおり、アイデアがあっても手が付けられないことを知った
- 提案を受け入れて頂けたときは非常に嬉しく思うと共に、より研鑽を積んで貢献したいという想いが強まった

コロナ禍での心掛け、 印象的な出来事について

本庄 先生方が様々な場面でご活躍されている様子がうかがえました。この 2 年間はコロナ禍で中小企業も大変な経営環境下にありますが、コンサルティング活動や普段の仕事において心掛けられた事や、印象的な事例がありましたらお聞かせください。

三本木 職場が大学ですので、「学生の学びを止めないこと」を心掛けた 2 年間でした。特に今の 2 年生には入学式をしてあげられなく、いきなりオンライン授業になってしまいました。それで私は、入学早々に 5 分ぐらいのビデオメッセージを配信し、「一人の時間をどう過ごすのか」について語りかけました。そして、入学して 3 カ月ぐらいたったころから学部の 100 名ほどの 1 年生を集めて、同級生や教員との交流の機会を何回かつくりました。

昨年秋からは原則対面で授業できるようになり、やっとリアル授業で学生に会えるようになりました。この嬉しさ、この感覚、忘れかけていたのですが、それが私にとってかけがえのない

ことだったのだと胸に刻むことができました。

コロナ禍で逆境にある中小企業におかれましても、おそらく平時には見えないことに気づく機会になっているのではないのでしょうか。それが未来へのチャンスとなれば幸いです。

大村 弁護士業務も社会の投影ですので、仕事に大きな影響があるかと思いきや、さほどではありませんでした。

最初の緊急事態宣言の時、Zoom や Skype などのオンライン相談の準備もしたのですが、ほとんど利用されませんでした。

顕著な影響としては、異業種交流会も含めた会合が減ったこと、オンライン研修が増えたことくらいでしょうか。

佐藤 コロナ禍により「直接面談」という密度の高いコミュニケーションが取りにくくなる中、どの様にコミュニケーションの質を高めるか、という事について心がけると言いますか…考えさせられました。

普段の仕事や、実務補習をはじめ診断士のコンサルティング活動もそうだと思いますが、企業支援や課題解決の為には、関係構築をしながら、いかに必要な情報を引き出し、またこちらの質問や考え・想いを伝えるかが大切だと感じています。コロナ禍でメール・電話主体のコミュニケーションにならざるを得なくなったことで、伝える事・引き出す事の難しさを痛感したと共に、事前の準備や伝え方の工夫について、より心がける様になりました。

コロナ禍での心掛け、 印象的だったことのまとめ

- ビデオメッセージを配信したり、交流の機会を作るようにした
- リアルで会えることの喜びは、かけがえのないものだったと胸に刻むことができた

- 逆境にある中小企業でも、おそらく平時には見えないことに気づく機会になっているのではないか。それが未来へのチャンス
- 弁護士業務の仕事には大きな影響はなく、オンライン相談もほとんど利用がなかった
- 異業種交流会等の会合が減った
- オンライン研修が増えた
- 直接会えないためコミュニケーションの質を高めることを考え工夫するようになった
- 関係構築をしながら伝えること、引き出すことの難しさを痛感した

今年の抱負や今後の展望

本庄 確かにリアルの大切さ、ありがたさを良く感じる1年でしたね。お話をお伺いして、こんな時だからこそ、見えてくる機会を掴めるように、冷静に環境変化を捉えつつ、希望を持って未来に向かう戦略を考えていきたいと思いました。

コロナ禍でのコミュニケーション・関係構築が難しく、工夫が必要になったというお話も、多くの方が共感する気付きだと思います。BtoCの企業でも、より丁寧に、誠実に、正直にということが求められているような気がします。

では最後に、年男としての今年の抱負や、今後の展望についてお聞かせください。

三本木 年男であると同時に今年は本厄を迎えます。これまで何回かあった厄年は全く気にせず、単なる迷信だと高を括っていたのですが、今年は体調の変化があるかもしれないと心構えています。ですので、今年の私の抱負は「なるべくおとなしくする」です。と申しましても、決して家に引き籠るということではありませんので、どうか飲みを誘ってください。あるいは私からお誘いするかもしれません。

『定年後』を書かれた楠木新さんの講義を、ウェブメディアのテンミニッツTVで最近視聴したのですが、それに影響され、今年はこれから15年間の計画をじっくり考え、それに備えようと思っています。そういえば、あの永ちゃんも60歳かそれぐらいの時に1年間ライブを封印し、その翌年からの矢沢ライブがパワーアップしました。72歳になった昨年も広島グリーンアリーナで魅せてくれました。これからもぶっ飛ばしてくれそうです。ということで、老いぼれてしまうのはまだ早いので、今年は来年以降の夢がやせてしまわないように支度します。なるべくおとなしく。

みなさまにおかれましては、今年がよい年でありますように。

大村 干支も4周し、それなりの年にはなってきましたが、まだまだ新しいことに取り組みたいと考えています。中小企業診断士として身につけなければいけないスキルが沢山あると思いますので、能力開発と顧客開拓に邁進したいと思います。

年男に限らず常に志していることですが、究極のジェネラリストを目指し続けていきたいと思っています。

佐藤 2022年は「壬寅（みずのえ・とら）」、厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となる年だそうです。私は3年がかりで診断士試験に合格し、昨年ようやく診断士としてのスタートラインに立つことが出来ました。2022年を診断士や人間として、成長の礎となる年にするべく、まずは協会や先日加入させて頂いた企業内診断士の会を含め、駆け出し診断士である事にトラ（捉）われず、積極的に活動しながら研鑽を積み重ねたいと考えております。

そしてゆくゆくは「話を聞いてくれる親しみやすい診断士」として頼られ、お世話になってい

る広島に少しでも貢献ができる様、頑張っ参りたいと思います。

今年の抱負や展望のまとめ

- 年男であると同時に本厄を迎えるので体調の変化に気を付けたい
- これからの15年計画を考え、来年以降の夢がやせてしまわないように支度する
- 新しいことに取り組む
- 能力開発と顧客開拓に邁進する
- 究極のジェネラリストを目指す
- 成長の礎となる年にすべく、積極的に活動して研鑽を積み重ねる
- 「話を聞いてくれる親しみやすい診断士」として頼られる存在になり、広島に貢献する

本庄 先生方、本日はお忙しい中、様々なお話を聞かせて頂き、ありがとうございます。色々な気付きを頂きました。先生方の今後益々のご活躍を祈念いたします。

お読みになっている皆様におかれましても、本年がより良い一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

(司会)
広報委員 本庄 恭子



広島県中小企業診断協会 「グループ研究会」へのご依頼・ご相談承り中！

研究分野の専門性を活かした

経営
診断

助言

セミ
ナー

研修
会

ISO 研究会

販路開拓 研究会

建設業 研究会

資金繰り表 研究会

原価管理 研究会

事業承継 研究会

企業再生実践 研究会 **NEW**

当協会のグループ研究会では、研究分野の専門性を活かした経営の診断や助言をはじめ、セミナー・研修会等を随時実施しております。

協会ホームページ上にグループ研究会へ直接連絡可能な「ご依頼・ご相談窓口」を設置しておりますので、お気軽にお問合せください。

www.hiro-smeca.jp

一般社団法人
広島県中小企業診断協会

ホーム 協会について コンプライアンス 会員の皆様へ 入会のご案内 グループ研究会 刊行物 関係先リンク アクセス
お問い合わせ 賛助活動(研究会、委員会を置く) グループ研究会へのご依頼・ご相談 プライバシーポリシー

経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします

経営者・支援機関さまへ

グループ研究会へのご依頼・ご相談
研究分野の専門性を活かした
支援・セミナー等を実施します

各研究会の研究内容・支援内容
についてはこちらをクリック！

(注) 報酬その他要件は、研究会「ご依頼・ご相談窓口」へ直接メールでお問合せください。

なお、ご依頼・ご相談にかかる一切の行為について、一般社団法人広島県中小企業診断協会は、何ら責任を負うものではありませんので予めご了承ください。

随筆・見聞録

大人の祭典 MVP コンテストに登壇

中小企業診断士 市岡 和美

事業承継をテーマにし、新米コンサルタントとクライアントがともに成長し、ビジョン実現を目指すという話をプレゼンしました

皆さま、こんにちは。市岡和美と申します。昨年3月に経営コンサルタントとして独立しました。人と経営数字の両面から、ビジョン実現のサポートをさせていただいています。独立して、充実した日々を過ごしています。

昨年11月に、日本キャッシュフローコーチ協会が主催する「MVP コンテスト」というコンサルタントのビジネスコンテストに登壇させていただきましたので、その様子をお伝えします。

日本キャッシュフローコーチ協会には、全国に700人を超えるキャッシュフローコーチ®と呼ばれるコンサルタントがいます。キャッシュフローコーチは、会社のお金の流れを見える化し、経営者の意思決定を手助けして、ビジョン実現をサポートします。私も1年前からキャッシュフローコーチとしても活動をしています。

MVP コンテストは、事前に選出された7名のキャッシュフローコーチが、クライアントにどのように関わり、どんな成果をもたらしたのか？キャッシュフローコーチ自身も、ビジョン実現に向けてどんな挑戦をし、成果を出したのか？について、10分間でプレゼンをし、MVP チャンピオンを決めるイベントです。

そして、最も特徴的なのは、プロレスの聖地・後樂園ホールで行われ、リングの上で登壇するということです。しかも昨年は、コロナ禍ということもあり、同時配信も行われました。

私は、登壇者として選んでいただいたのですが、プロレスをほとんど見たことがなく、後樂園ホールに行くのも初めてで、想像できない世界でした。



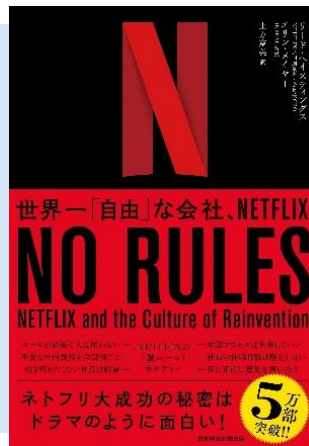
自分の出番になると、音楽が流れ、後方から15メートルくらい歩き、ロープをくぐって、リングに上がります。リングの上の床には戦士たちの血痕も見えます。ライトを強く浴び、観客席は薄暗くなりますが、観客の表情はなんとなくわかります。そして、開始のゴングが鳴ったら、10分間のプレゼンです。

私は、事業承継をテーマにし、新米コンサルタントとクライアントがともに成長し、ビジョン実現を目指すという話をさせていただきました。リングの上にポツンと立ってプレゼンをするという非日常的な空間で、緊張して上手く話すことができず、残念な結果に終わりました。

ほろ苦い思い出の MVP コンテストになりましたが、登壇させていただいたことで、独立を決めた時から、登壇までの1年間を振り返り、様々な気づきを得ることができました。アウトプットを先に決めたので、早く成果を出すこともできました。独立して1年も経たない私が登壇させていただいたことに感謝しています。独立2年目もがんばっていきます。

書評

中小企業診断士
藤掛 真行



NO RULES (ノー・ルールズ)
世界一「自由」な会社、
NETFLIX

著者：リード・ヘイスティングス他
出版社：日本経済新聞出版
発売日：2020/10/20
価格：2,420円（税込）

ミスを防ぐことを優先して「ルールと手順」に偏れば、新しい発想や変化に対応することは出来ず、組織全体のあり方から変えていく必要があるという。これは現在の日本が直面している課題ではないだろうか

本書のタイトル「ノー・ルールズ」は、グローバル企業Netflixが、休暇や経費の規定、人事評価制度を廃止、意思決定にかかる承認まで不要にするなど、社内ルールのほとんどを撤廃していることを表現している。

著者の一人でもある、創業者リード・ヘイスティングス氏は、「自由と責任の文化」がNetflixの創造性と環境変化に対する対応力を高める原動力であったと述べている。

本書は、組織運営において管理と統制に重きを置くべきなのか、それとも、社員の責任感を信頼して自由を尊重することは可能なのかという問いに対する著者の回答でもある。その主張には説得力があり、読み進めるうちに、事業内容や企業の成長段階などによっては「管理を減らす」選択肢を考慮すべきではないかと考えるようになった。

リード氏の主張は、権限委譲に伴う社員のモチベーション向上を論じたものではない。「優秀な人材で組織を作れば管理ルールは不要になる」という考え方は論理的かつ合理的である。本書においては、Netflixが実践した三段

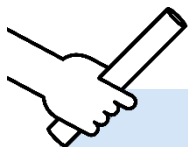
階の取り組みが具体的に紹介されている。前提として「能力密度」と「率直さ」を高めることが必須であり、それが整ったならば「管理ルールを減らす」ことが可能となるのである。社内の能力密度が高まり組織全体のパフォーマンスの質が高まれば、お互いが暗黙の責任を負うようになり、管理ルールを撤廃することは実現可能なのだと著者は主張する。

会社にとって最善の行動を取ることを共通認識とする。失敗しても何を学んだか話し合う社内文化を作る。インチキする者がいても全体の利益が損失を上回るなら構わないという著者の言葉には潔さと強い覚悟が感じられた。

ミスを防ぐことを優先して「ルールと手順」に偏れば新しい発想や変化に対応することは出来ず、組織全体のあり方から変えていく必要があるという。これは現在の日本が直面している課題ではないだろうかと思えた。

組織運営と意思決定モデルに対する議論に一石を投じる興味深い一冊である。組織の変革に関心を持つ方々には特にお勧めしたい。

診断士リレー訪問記



たなだ ゆうさく
中小企業診断士 棚田 勇作



ほんじょう きょうこ
中小企業診断士 本庄 恭子 氏

今回は、広島市で独立診断士として活躍されている、本庄さんをご紹介します。
本庄さんとは、事業承継研究会で一緒しています。2020年に診断士を取得される前から独立してWebや印刷のデザイン業をされており、キャリアコンサルタントや心理カウンセラーの資格もお持ちです。

診断士資格取得後もMBAを取得されるなど、向学心にあふれる方です。私が独立した際には非常に素晴らしいWebサイトを作ってくださいました。



中小企業が好きなので、今は診断士としての仕事に非常にやりがいを感じています

Q: まずは、ご出身からお伺いしたいと思います

A: 広島県呉市倉橋町の出身です。いつもすぐそばに海と山がある、のどかな田舎で育ちました。ずっと広島県内に住んでいます。そういえば広島市に住んで、もう15年以上経ちますね。

Q: ずっと広島にいらっしゃるのですね。診断士取得前の仕事について教えてください

A: デザインの専門学校を出て、メーカーやデザイン事務所、ITベンチャー、印刷会社等に勤めました。派遣で事務をしていたこともあります。振り返ってみると、中小企業を渡り歩いて、営業や事務、管理、クレーム対応、販促・イベント企画提案、印刷やWebのデザイン等、様々な仕事をしてきました。前職では“コトづくり(体験価値づくり)”に力を入れていました。

Q: デザインの仕事をメインにしてこられたとお聞きしていますが、子供の頃からデザイナーになりたかったのですか?

A: 元々今のようなデザイナーになろうとは思っていませんでした。高校生の頃に進路に迷い、大学受験も失敗して…。ぼんやりしていたら母に専門学校の受験会場に連れて行かれ…という成り行きですね。デザインを生業にするとは想像もしていませんでした。田舎に住んでいたこともあり、あの頃はまだ、女性が自分の仕事を持って一生続けるという意識がなかったですね。デザインをしていると魂を削るような苦しい思いをすることもあり、これまで何度もデザイナーをやめようと思ったことがあるのですが、なんだかんだと経験を積んできて、お客様に喜んで頂くことも多く、結局私の得意分野はこれかな、と思って続けています。こう思うとデザイナーになるきっかけを作ってくれた母に感謝ですね。

Q: ご趣味やマイブームはありますか？

A: ここ2年程、年に100冊以上はビジネス書や心理系の本を読んでいたので趣味は読書と書いていましたが、今年はいくつか病気をしてしまい体調不良で読めていないので無趣味状態です。

強いて言うなら、病気をして健康管理の重要性を改めて感じるようになったので、健康管理がマイブームです。食べるものに気を遣うようになりました。糖質を控え、タンパク質をしっかりとりするようにしてから、だいぶ体調も良くなってきました。身体づくりには運動も重要なのですが、非常に出不精な上、スポーツは不得意なので、空いた時間にテレビの前でステッパーを踏むようにしています。体力がないのが悩みです。

Q: 診断士を取得したきっかけはなんですか？

A: 直接の動機は、前職で販促企画やホームページの提案をするときに、経営的な観点から企業の強みや差別化ポイントを把握しないと、訴求力の高いプロモーションができないと考えたことがきっかけです。コピーライティングもしていたので、何をお客様に伝えればよいのかと悩んでいましたし、そもそも今、この販促をすべきなのか、会社として他にやるべきことがあるのではないかと等々と考えることがあったので、幅広く会社について学ぶことができる診断士を目指しました。また、子供の頃から寂れた小さなお店を見ては「あの店大丈夫かな？」とよく家族に聞いていて、今思えば昔から経営に興味があったのだと思います。実家が家族経営の自営業をしていて、私が小学生の頃に会社をたたんでいることもルーツの一つかもしれません。

Q: 独立して4年になるとのことですが、独立の経緯を教えてください

A: 前職の在職中に診断士の勉強を始めたのですが時間の余裕がなく、退職して試験に挑むことにしたのがきっかけです。結局、退職した年も1次試験が突破できず、翌年は2次試験に落ち、その翌年にやっと合格したので、合格までに足掛け5年かかりました。大変でした(笑)

Q: 診断士を取得後どんな変化がありましたか？

A: 実務補習で経験豊富な指導員の先生方から、中小企業の実情や改善提案の方法・取り組む姿勢を教えて頂いたことで、診断士の役割や重要性、仕事の魅力を感じ、より中小企業経営に興味を持つようになりました。広島県中小企業診断協会に入って先輩方の様々な活躍を聞かせて頂いたことで視野も広がりました。皆様のおかげで、以前よりは俯瞰的かつ深く物事を見ることができるようになり、未来のビジョンを考えつつ、今、本当に何が大事なのかといった本質を追求する姿勢、諦めずに正面から取り組む姿勢を持つことができるようになったと思っています。

Q: 本庄さん自身の強みや活かしていこうと思うことは何ですか？

A: 経営状態や改善の方向を把握・提案しながらデザイン制作ができるというのは強みだと思います。中小企業がこれまで上手く言葉にできなかった強みを言語化・ビジュアル化し、お客様にわかるようなツール(印刷物やWeb)を作成して広め、とりまく多くの方々に良い循環(六方よし)を作るのが私の仕事だと思っています。ヒアリングしながら企画の提案をしたり、家に帰ってすぐにデザイン案を作ったり、質とスピードという面で良い効果が出ていると思います。また、キャリアコンサルタントは3年程前に取得したのですが、元々カウンセラーになりたいという夢があり、心理系の勉強をしていたので、その知識や経験は組織作りやマーケティング・ブランディング支援、ヒアリング時にも生きています。話していると力が湧いてくる、と言われることもあり、嬉しく思います。

Q: 今後の活動のビジョンや方向性、夢など思い描いていらっしゃることを教えてください

A: 今はとにかく、現在抱えている新規事業の推進支援の案件にしっかりと取り組んで、早く軌道に乗るように支援していきたいです。大学院で女性後継者について研究したので、それを活かして後継者・経営者支援もしていきたいです。

新 入 会 員 紹 介

正 会 員 児 玉 将 典 (こ だ ま ま さ の り)



令和2年3月に診断士登録をしましたが、広島県中小企業診断協会へは少し間があいて令和3年8月に入会させていただきました。

大学卒業後は関東のゼネコンに就職しましたが、ほどなく広島に戻り不動産仲介会社を経て、マーケティングリサーチと商業を中心としたコンサルティングを主事業とする(株)成研に入社し、20年以上勤務しています。

会社は、経済産業省や自治体の産業関連部局の調査事業を毎年受託しており、中小企業診断士の先生方にご協力をお願いすることが多々あ

りますが、私自身が企業経営全般に関する知識が不足していたこともあり、中小企業診断士の資格取得を目指しました。

私自身は、宅地建物取引士、不動産コンサルティングマスターの資格を持っており、主に商業施設の開発や活性化などに関わる仕事に長く従事しており、デベロッパーや流通業のお客様との付き合いが多いです。

商業と不動産をベースにして経営コンサルタントの仕事に携わりたいと考えています。先進事例の調査はしているのですが、中小企業の指導自体の経験は少ないので、協会を通じて幅広く勉強をさせていただきたいと希望しております。どうぞよろしくお願いいたします。

New Member



よろしくお願ひ致します

事務所レポート

中小企業診断士・農業経営アドバイザー試験合格者 田島 寛司



私は平成 29 (2017) 年 4 月に中小企業診断士の資格を取得し、中小企業（商工業）の経営支援をし始めました。短期間での効果的な「経営診断のやり方」を上達させる目的で、

経済産業省が主催している「新現役交流会」に参加して、ヒアリングの仕方に「磨き」をかけました。

当時、所属していたコンサルファームが中小企業庁の主催する「農商工連携促進事業」に入札し、採択されたことがきっかけで農業経営サポートを実際におこなうようになり手探りでの農業事業者の経営支援活動をおこない始めました。

東京都診断協会では、アグリビジネス経営支援研究会に所属し、会長が農業経営アドバイザー試験合格者でしたので、農業経営指導のノウハウを吸収できるようになりました。

この研究会は実際の農業法人の経営を診断し、並行して「経営診断マニュアル」を作成し、私も経営診断マニュアル策定に参加できたため、大変勉強になり現在の仕事に生きています。

別のルートで日本政策金融公庫の「課題解決サポート事業」を受託し、農業法人の経営再生支援をおこなっています。現在、広島県では、2 社の経営サポートをおこなっています。

所属していたコンサルファームの紹介で、独立初年度に「経営力向上計画」「経営革新計画」の申請書策定をするチャンスを貰い作成のノウハウを取得できました。

ものづくり補助金申請書策定支援をおこない、補助金の採択を通じて、間接的に中小企業の経営支援に関わることができるようになり、当該企業の社長に信頼され、採択をきっかけにして、補助金を使った設備投資をおこないたいという企業の紹介を受けるようになっています。

①広島移住のきっかけ

サラリーマン時代に、東京を離れて心穏やかに暮らせる場所を探していた時に、江田島市の風景に出会い、地元の農業者とも懇意になり、どうせ住むなら、農業者の役に立てる人間になろうと考え、診断士資格の早期取得を考えました。一次試験は通過していたので、経営大学院で診断士と MBA の資格を 1 年で取得しました。

独立後、MBA の知識が役立ちコンサルティングでの説得力が増し社長の信頼を勝ち得ています。

新型コロナウイルス感染症の影響で 1 年間遅れましたが、現在、広島市に在住して江田島市で「住む場所」を探しています。

大学院での論文のテーマを具現化し、「農作業を取り入れた企業研修プログラム」を提供するため起業するタイミングを模索しています。

②研修会社起業の社会的意義

私が研修会社を立ち上げることは、有機農業者の人手不足の解決策に「コミュニケーション能力」と「チームワーク」の醸成を目的にした研修プログラムをおこなうことで、社員の労働生産性向上に貢献すると考えています。

人の役に立つ「セカンドライフ」を送ることが私の当面の目標になっています。

ISO研究会

代表 栗山 琢次

ISO研究会では、ISOの認証取得を目指す企業、または認証取得したが経營業績に有効に機能していない企業、組織的で継続的な改善のニーズのある企業に対する支援に生かせる効果的なツール作りに取り組み、支援実務での活用をすすめている。令和3年度も継続した計画とする。



【メンバー】

栗山 琢次、宮前 美方子、野崎 義博、砂口 たくし

活動のねらい

中小企業の経営管理（計画・改善のプロセスを回す）のレベルアップ支援で重要なこととして、

① プロセスアプローチの手法を活用する

多岐にわたる業種特有のプロセスを理解し、企業と一体的な活動を進める上でキーとなる活動のプロセスを具体的に把握、理解した上で支援することが極めて重要で、一歩踏み込んだ核心に迫れるマニュアル作りを目指す。

会員の得意領域での事例の共有、発展につなげる。

② プロジェクトマネジメントの手法を活用する

組織的で計画的な改善を根付かせる上でパフォーマンス評価をベースとしたPDCAを回す。中小企業にも取り組みやすい実践的なツール作りを目指す。

支援業務での事例（成功・失敗）の共有。

活動の進め方

- ① 定例ミーティングは、2ヶ月に1回（土曜日午前中）で指導マニュアルの検討・策定、企業への支援計画策定、活動実績の整理等を行い、まとめていく。
- ② 関連書籍の自由な勉強、まとめ、ズーム会議での発表を組み込み、レベルアップを図る。
- ③ 中小企業、ISO審査機関からの問い合わせ、支援要請へは対応していく。

企業内診断士診断能力向上研究会

研究会広報担当 黒崎 崇貴

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）では、

- ・ 企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）
- ・ 中小企業経営の改善・革新の支援（貢献）
- ・ 診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）

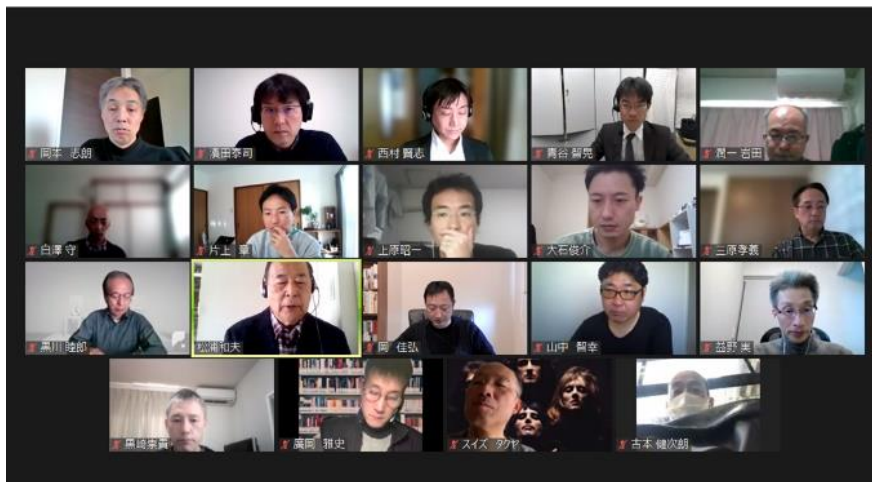


を目的として、活動に取り組んでいる。

毎月第3土曜日午後の月例会合については、Web会議にて開催し、会員がそれぞれ研究成果を発表した。

夏期（7月）と秋期（11月）に例年開催している交流会については、コロナ禍の状況を踏まえ、夏期は7月18日（土）夕方に、秋期は11月28日（土）夕方に、Webによるリモートでのセミナーを開催した。

また、実務診断についても、協会本部の「企業内診断士におけるプロボノ活動の支援に向けた実証実験事業」による3件目の案件として、三原・尾道の2つの事業組合の事業統合に向けた支援に取り組んでいる。新型コロナウイルスの影響による制約を受ける中ではあったが、Web会議やITツールを活用しながら、最終報告に向けて提言の取りまとめを行っている。



令和3年
リモート
セミナーの様子

地域活性化研究会

代表 児玉 忠則



1

東京一極集中は、国としてのバランスを欠き、かつてバブル経済とその急速な崩壊により国民経済を大混乱に落とし込み、その構造的改善なきままで今回のようなコロナ禍に遭遇すると、その脆さも露見、日本の第3四半期（7～9月期）国内総生産（GDP）が、前期比マイナス0.8%、前期比年率換算でマイナス3.0%と、市場予想を上回る落ち込みとなった。マイナス成長は2021年第1四半期（1～3月）以来の2期ぶり。日本のGDPマイナスの主な要因は、個人消費および設備投資、つまり民間需要の弱さが際立つ。緊急事態宣言は社会の人流を抑制し、消費・投資意欲の抑制を暗に目的としているのだから、民間需要の低迷は必然でもある。

これからはリベンジ消費への期待もあるが、原油の値上がりや国際的な原材料不足など更なる厳しい局面が予想される。日本再興には、やはり地域経済の活性化無くしては成就しえない。又、それにはその地域内の主要プレイヤーたる、中小企業や小規模事業者などの活性化こそ、力強い全体底上げとなる。雇用の7割を支える企業は正に地方にありと言える。

そこで、地域活性化の意義とは、国民目線的かつ個人消費の活性化が必要であり、新資本主義経済の普及が望ましい。現在の資本主義は利益至上主義・優勝劣敗の勝ち組中心となっており、これでは健全な経済・社会の発展、SDGsやカーボンゼロ社会などの環境問題への取組も不十分となる。

2

日本経済の構造的改善は、地方発、国民目線からの提言があつてこそ、地に足がついた根本的な改善となる。その為には、地方

から積極的に発信・提言が必須であり、中央からの支援待ちの姿勢では、地方独自の課題解決は出来ない。

地方が輝くためには、その地方独自カラーの追求・発揮が必要。即ち、各地域ごとにその持てる特色・伝統・歴史にスポットを当てて、その価値の最大化を図ることが必要。意のある人々が集う場・機会を設ければ、自ずと地域発展に向けた良き議論が盛り上がる。

そこで、この度「地域活性化研究会」を立上げ、多彩な観点から地域ごとの売りを見出して、これを東京などの大市場に攻勢をかけ、文化的にも国全体のリーダー的役割を果たして、健全な社会発展の一助たらんと願っている。

3

現在、社会活動としては、事例：企業経営研究塾、あしたば会—勉強会+健康談義の交換会・有益情報の交換会を行っている。

各地の図書館に会議室を設けて、自由に意のある人々が集い地域課題の解決策を練ることで、自ずと勉強、これが生涯学習の促進となり、健康長寿への道筋となれば、介護保険財政を始め、医療・福祉管関係財政の健全化にも資する。生涯学習の継続により、生き甲斐を見出し、健康問題に関心を持つことが、医療・介護予防となり、これが消費需要を盛上げれば、コロナ禍転じて福となすことが期待される。そのように思い、行政や自治体への提言活動を展開している次第。

是非とも賛同者を幅広く募り、共に汗をかいてまいりたく、本会への入会を募集中です。

総務委員会

総務委員長 波出石 誠



令和3年度の総務委員会の活動状況は、以下のとおりである。

(1) 通常総会

令和3年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年5月22日(土)13時よりオンラインで開催した。総会では活動報告・計画、収支・予算、コンプライアンスの推進等の議案が承認可決された。懇親会はなし。

(2) 理事会

① 第1回 4月18日(日) オンライン開催

議題

令和3年度総会次第(案)、令和2年度総会活動報告(案)、委員会活動報告、令和2年度決算(案)、令和3年度総会活動計画(案)、委員会活動計画、令和3年度予算(案)、コンプライアンス関係等。

② 第2回 8月4日(水) オンライン開催

議題

委員会活動報告、令和3年度収支状況、コンプライアンス関係、利益相反取引等。

③ 第3回 11月14日(日) オンライン開催

議題

委員会活動報告、令和3年度中間決算、コンプライアンス関係、利益相反取引、受託事業契約関係、YouTube動画の事前審査、専門家登録システムの他県展開等。

(3) 中国ブロック連絡会議(東京本部及び中国5県の診断協会との連絡会議)

中国ブロック連絡会議(東京本部及び中国5県の診断協会との連絡会議)

(4) 交流会・相談会

第6回士業交流会(広島自由業団体連絡協議会の若手会員同士の交流会)、創業相談会(日本政策金融公庫ほか8機関主催による無料相談会)、第28回無料よろず相談会(広島市、広島自由業団体連絡協議会が開催する無料相談会)

これらの事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止された。

(5) 診断士の日関連事業

令和3年度の診断士の日関連事業は、新規に当協会のPR動画を4本作成し、既存の資金繰り研究会の紹介動画と合わせ計5本の動画を中小企業診断士の日11/4(木)から順次、当協会のYouTubeチャンネル(広島県中小企業診断協会チャンネル)で配信した。広島県中小企業診断協会チャンネルは、当協会HPからアクセス可能。

(6) 図書館無料ビジネス相談会

令和3年度の4月~11月の相談件数は、広島市立中央図書館(第2土曜日)が17件。福山市中央図書館(第4土曜日)が8件であった。今年度の相談会は、新型コロナウイルス感染防止のため広島、福山の相談会共に各3回中止になった。

試験委員会

試験委員長 落野 洋一



今年度の活動報告については以下のとおりである。

令和3年度中小企業診断士試験（広島地区）

1. 第一次試験	令和3年8月21日（土）、22日（日）広島市中小企業会館にて実施。1,033名（前年は843名）の受験者に対し、合格者228名（前年は191名）、合格率22.1%（前年は22.7%）であった。
2. 第二次試験（筆記）	令和3年11月7日（日）広島市中小企業会館にて実施。359名（前年は279名）の受験者であった。合格者の発表は令和4年1月14日となっている。
3. 第二次試験（口述）	令和4年1月23日（日）に実施予定。（現時点で会場は非公表となっている）

今年度は東京オリンピックや新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続いて第一次試験を7月、第二次試験（筆記）を10月下旬に実施した。これにより、第二次試験（口述）が1月実施となっている。現時点では特に滞りなく試験業務を実施している。

診断実務委員会

診断実務委員長 落野 洋一

診断実務委員会では今年も、①中小企業診断士の登録要件である実務補習、②登録更新に必要な実務従事ポイント取得のための実務従事、の二つの事業をおこなっている。今年度の活動報告については以下のとおりである。

令和3年度中小企業診断士	実務補習（夏季）	7月、9月に各5日間、合計8班（42名）で実施した。
	実務従事	10月に計6日間、1班（6名）で実施した。
	実務補習（冬季）	<p>以下の予定で実施する。場所は広島市、福山市の2会場体制、5日間・15日間コースの合計11班での実施を予定している。</p> <p>第1回：令和4年2月4日（金）～2月14日（月） 第2回：令和4年2月18日（金）～2月28日（月） 第3回：令和4年3月4日（金）～3月14日（月）</p> <p>実施の際には感染症対策を徹底して取り組んでいく。今後は、広島市以外の場所でも実務補習ができる体制を拡充するとともに、実務補習・実務従事の指導員登録者の増員・育成についても重点に取り組んでいく。</p>

更新研修委員会

更新研修委員長 宮前 美方子



更新研修研究委員会は、中小企業診断士の更新要件のひとつである「新しい知識の補充に関する要件」となる研修を実施している。新型コロナウイルスの感染予防に十分な配慮を行いながら開催した。



【7月19日 広島 JAビル】

● 第1・2回（広島）

第1・2回は、7月18日（日）・19日（月）に広島 JA ビルにて開催した。19日は初めての月曜日の開催ということで、参加人数は若干少なめであったが、平日開催のニーズも一定数あることが確認できた。

講義は、「新しい中小企業施策について」と題し、初日は中国経済産業局産業部中小企業課課長補佐 中井靖氏、2日目は課長 浜本幸男氏より、新型コロナ感染症関連の新しい施策を交えた令和3年度予算についてご講義頂いた。

次に、「中小企業の生産性向上支援」について一般社団法人サービス産業革新推進機構代表

理事 内藤耕氏にご講義いただいた。中小企業の生産性向上について新たな知識を得ることができたと、受講者からは好評を博した。

● 第3回（福山）

第3回は、11月27日に、福山商工会議所にて開催した。1時限目は中国経済産業局産業部中小企業課 総括係長 石崎良平氏より、「新しい中小企業施策について」と題して、新型コロナウイルス感染症関連の支援施策の実施状況や補正予算の状況も交えながらご講義を頂いた。

ついで、「中小企業新事業展開支援」について、株式会社ビジネスブレイン代表取締役 松浦和夫氏よりご講義いただいた。受講者からは、多くの事例が大変参考になったという声が聴かれた。



【11月7日 福山商工会議所】

● 第4回（広島）

第4回は、12月11日に、広島県情報プラザで開催した。

会員研修委員会

会員研修委員長 川角 栄二

会員研修委員会は、本年度会員研修会を3回計画しており、そのうち2回が終了した。



第1回会員研修会

令和3年8月28日（土）開催の第1回会員研修会では、講師に日本政策金融公庫広島支店国民生活事業の竹村圭一郎課長、県協会の西原州康副会長を迎え、それぞれ資本性劣後ローンと経営戦略策定支援について講義して頂いた。

受講者は、リアルタイムが44名、タイムシフトが13名であった。

第2回会員研修会

令和3年12月9日（木）開催の第2回会員研修会では、講師に広島県事業承継・引継ぎ支援センター専門相談員の大島季子会員を迎え、スモールM&Aについて講義して頂いた。

第3回会員研修会

タイトル：「先輩診断士に聞く顧客開拓の実務（仮）」

日時：令和4年2月26日（土）13時頃～

講師：野崎義博会員、中尾友和会員、鼠家正則会員

Online



Seminar

グループ研究委員会

グループ研究委員長 岡 佳弘

当協会のグループ研究会は、現在、14 グループ（うち東部地区3グループ）が、中小企業診断や支援等に係る専門的な技術・能力の向上を目指し、活発な活動を展開している。

今回は、今年度の活動のうち、各研究会の研究成果を発表する「研究活動成果発表会」と当協会ホームページに設置している「ご依頼・ご相談窓口」について紹介する。



1. 研究活動成果発表会

今年度の研究活動成果発表会は、9月4日に広島県情報プラザ第1研修室において開催したが、直前に新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発出されたため、急遽、メイン会場は発表者・事務局のみとし、一般聴講者はすべてWEBによる聴講とした。

当日は、「ニューロビジネス研究会：西村英樹先生」「資金繰り表研究会：松吉聡先生」「企業内診断士の会：古本健次朗先生」の3研究会による成果事例の発表、「地域活性化研究会：児玉忠則先生」「リスクマネジメント研究会：三村雅彦先生」に新規研究会活動紹介を行っていただいたが、様々な制約がある中での開催になった



にもかかわらず、例年どおり多くの皆さまに聴講（46名）をいただき、WEBを通じて活発な質疑が行われた。本紙面をお借りし、経営診断に役立つ実践的な研究成果の発表をいただいた研究会の先生方や、準備・運営にご協力いただいたグループ研究委員・協会事務局のご尽力に改めて感謝申し上げたい。

2. ご依頼・ご相談窓口の設置

当委員会では、所属する中小企業診断士による研究会活動を広く認知いただくとともに、研究会へのアクセスの利便性向上を図るため、当協会ホームページに直接研究会へご連絡いただける「ご依頼・ご相談窓口」を設置している。

現在は、次の研究会の窓口を設置しており、中小企業支援機関や経営者の皆さまで、専門分野の研究を活かしたセミナーや支援等のご希望があれば、お気軽にお問い合わせいただきたい。

〔ご依頼・ご相談窓口設置研究会〕

- | | |
|-------------|------------|
| ・ ISO 研究会 | 代表 栗山 琢次先生 |
| ・ 販路開拓研究会 | 代表 川上 正人先生 |
| ・ 建設業研究会 | 代表 柳川 治久先生 |
| ・ 資金繰り表研究会 | 代表 大村 貞之先生 |
| ・ 原価管理研究会 | 代表 増田 宣彦先生 |
| ・ 事業承継研究会 | 代表 植田 昌子先生 |
| ・ 企業再生実践研究会 | 代表 岩本 亨先生 |

会員の皆様からの原稿を募集しています！



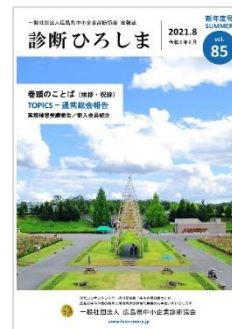
支援先企業紹介
企業支援の取り組み事例
補助金活用情報、業界動向
著書の紹介

といった診断士ならではの情報や、
おすすめのお店・商品・メニュー、
診断士川柳、趣味紹介、エッセイ
地元のおすすめスポット・イベント情報
のような楽しいコンテンツも募集しています

皆様ご存知のように、前号から「診断ひろしま」は誌面をリニューアルしました。

内容についても、会員同士の交流や発信の良い場になっていくよう、充実させていきたいと思っています。

ぜひ、皆様からの原稿をお待ちしております。



支援先企業を
PRする場としても
ご活用ください

こういうコーナーが欲しい等
コンテンツのリクエストもお待ちしております

ご連絡先

広島県中小企業診断協会
E-mail: jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp



令和3年度 年間主要行事日程

終わった行事 (2021年)

日 付	行 事
4月18日(日)	第1回 理事会 (Zoom開催)
5月22日(土)	通常総会
7月2日(金)～12日(月)	夏期実務補習① (5日間)
7月18日(日) 19日(月)	第1回、第2回 理論政策更新研修 (広島会場)
8月4日(水)	第2回 理事会 (Zoom開催)
8月21日(土) 22日(日)	中小企業診断士 第1次試験
8月28日(土)	第1回 会員研修 (Zoom開催)
9月4日(土)	グループ研究会 研究成果発表会
9月17日(金)～27日(月)	夏期実務補習② (5日間)
11月7日(日)	中小企業診断士 第2次試験 (筆記試験)
11月14日(日)	第3回 理事会 (Zoom開催)
11月27日(土)	第3回 理論政策更新研修 (福山会場)
12月9日(木)	第2回 会員研修 (Zoom開催)
12月11日(土)	第4回 理論政策更新研修 (広島会場)

これからの行事 (2022年)

日 付	行 事
1月23日(日)	中小企業診断士 第2次試験 (口述試験)
2月4日(金)～14日(月)	冬期実務補習① (15日間・5日間)
2月16日(水)	第4回 理事会 (Zoom開催)
2月18日(金)～28日(月)	冬期実務補習② (15日間)
2月26日(土)	第3回 会員研修 (Zoom開催)
3月4日(金)～14日(月)	冬期実務補習③ (15日間)

事務局からのお知らせ

1. YouTube チャンネル開設のお知らせ

令和3年度の診断士の日関連事業として、当協会のYouTubeチャンネルを開設いたしました。現在、計5本の動画を配信しています。

下記URLまたは広島県中小企業診断協会ホームページにあるバナーからアクセスしてください。

https://www.youtube.com/channel/UChpBVfZeM7rzeiBmtTl_qWg/videos



広島県中小企業診断協会

検索

(注)検索結果から「広島県中小企業診断協会」をクリックし、協会ホームページ右側の「広島県中小企業診断協会チャンネル」のバナーをクリックしてください。



2. 中小企業診断士更新登録申請手続きについて

令和4年3月に更新登録時期を迎えられる会員の方へ、申請案内が送付されております。お早めに、必要書類をお取り揃えいただき、ご送付ください。

3. 専門家登録の案内および情報更新のお願い（正会員の方へ）

広島県中小企業診断協会では各支援機関より様々な中小企業支援事業を受託しております。受託した案件については、正会員の中で専門家登録をさせていただいている方に、随時依頼または公募を行っております。

まだ専門家登録をされていない方は是非ご登録していただき、大いに活躍して頂きますようお願いいたします。

また、すでに登録されている専門家の方は登録内容に変更のあった場合（経験年数の更新を含む）には、随時更新していただきますようお願いいたします。

登録手順につきましては、事務局（jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp）まで直接ご請求ください。

4. コンプライアンス研修受講案内（正会員の方へ）

正会員の方は協会本部ホームページのマイページにてコンプライアンス研修 e ラーニングを学習してください。

診断士活動における具体的なコンプライアンスの内容について説明しています。

県協会受託事業に従事される方には、本 e ラーニング受講を必須とさせていただきます。

編集後記

新年を迎え、会員および関係機関の皆様におかれましては健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。併せて、広報誌発行にあたりご協力下さった皆様にご心よりお礼申し上げます。

本誌では、新年号恒例の座談会として寅年生まれの方の先生にお集まりいただき、世代を超えた貴重なお話を聞かせてもらいました。広島県中小企業診断協会は年齢の違いだけでなく、様々な専門分野やバックボーンを持った会員によって組織されています。こうした多様な会員が横の繋がりを持っている点が当協会の強みであり、会員相互の研鑽だけでなく外部の機関や企業に対して様々な価値を提供することに繋がっています。

早いもので新型コロナウイルス感染拡大の影響も2年になろうとしています。ワクチン接種などは進んできたものの未だに収束の糸口は見えていませんが、当初ここまで長期化することをどれほどの方が予想できたでしょうか。今年こそはコロナ禍が終息することを願いつつ、この一年が皆様にとって未来に繋がる実りある一年になるようご祈念申し上げます。

広報委員長 小寺 崇之



良い一年に
なりますように

表紙写真「宮島に建つ五重塔」

撮影：小寺 崇之



宮島の千畳閣の隣に建つ五重塔
(1407年建立)

宮島は厳島神社だけでなく様々な寺社仏閣が建ち並ぶ広島を代表する景勝地です。県外、海外からの観光客が戻ることを願って。

一般社団法人広島県中小企業診断協会会報 第86号

発行：令和4年1月7日（年2回発行）

発行人：会長 江川 雅典 編集人：広報委員長 小寺 崇之

記事やお知らせ募集中！お気軽にご連絡ください



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

Hiroshima Small and Medium Enterprise Management Consultant Association

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号 広島県情報プラザ3階

TEL：(082) 569-7338 FAX：(082) 569-7336

E-mail: jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp

www.hiro-smeca.jp

会員数

214名

令和3年12月時点
正会員・準会員・特別会員
含む。休会員は含まない

「診断ひろしま」の
バックナンバー公開中

